

《担当者名》○花岡 真佐子(非) [hanaoka@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
平 典子 [hiran@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

看護実践には科学的な問題解決型アプローチと人間的な実践志向型アプローチの両方があり、実践に必要とされる看護の知の基本的要素には治療の科学だけでなくケアの科学も含まれる。

本講義では看護実践の中心的な概念を取り上げ、看護実践に内在する複雑で包括的な特性を探究する。

【学修目標】

1. 看護実践における看護者の熟考の概念を説明できる。
2. 看護実践における交渉の概念と現象を説明できる。
3. 看護実践における協同の概念と現象を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 4	授業のすすめ方 1. 看護実践における熟考の概念	ゼミナール形式で文献講読とディスカッションで進める。 看護実践における「熟考」に関する文献を講読し、看護者における知的諸活動の課題を検討する。	花岡 平
5) 8	2. 対人関係における交渉、協同の概念	対人関係における「交渉」「協同」に関する文献を講読し、看護実践における対人関係の課題を検討する。	花岡 平
9) 15	3. 興味・関心領域の文献検討	1) 学生の関心領域における中心的な概念を検討する。 2) 課題レポート作成とまとめ。	花岡 平

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、準備・参加状況(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

1. Hesook Suizie Kim.上鶴重美・原田裕子監訳『看護学における理論思考の本質』日本看護協会出版会、2003.
2. E.ウィーデンバック、外口玉子・池田明子訳『臨床看護の本質』現代社、1984.

【参考書】

随時、提示する。

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。